

国際会計人材の育成

2018年7月5日

公益財団法人財務会計基準機構

国際会計人材ネットワーク(1)

- 当財団は、IFRSに関して国際的な場で意見発信できる人材及びIFRSに基づく会計監査の実務を担える人材等の育成を目的として、国際会計人材ネットワークを2017年4月に組成している。
- 現在のネットワーク登録者は、以下のとおりである。

	企業の役員・従業員	公認会計士・監査法人勤務者	証券アナリスト	基準設定主体の委員・研究員	官庁の行政官	学識経験者	合計
2017年4月27日	55名	642名	17名	28名	11名	0名	753名
2018年5月1日	89名	641名	24名	29名	12名	1名	796名

2017年10月以後、以下の取組みを行なっている。

- 国際会計人材ネットワーク第2回シンポジウム（2018年3月）
 - IASB Nick Anderson理事講演
 - パネル・ディスカッション「損益計算書の新しい姿」
- IASB Nick Anderson理事及び鶯地理事との少人数会合（2018年3月）
 - 持分法投資損益の表示
- 国際会計人材ネットワーク定例会（50人程度の会合）
 - 第1回 講師：IASB鶯地理事（2018年2月）
 - 「企業活動と国際ルールづくりへの関与」
 - 第2回 講師：池田金融庁総務企画局長（2018年5月）
 - 「今後の企業会計の課題」

- 当財団は、中長期的な国際的な会計人材の発掘・育成を図るため、2012年より会計人材開発支援プログラムを開始し、これまで以下のとおり、実施している。
 - 第1期（2012年1月～2013年12月）
作成者9名、利用者8名、監査人17名 計34名
 - 第2期（2014年5月～2015年12月）
作成者8名、利用者4名、監査人10名 計22名
 - 第3期（2016年10月～2017年10月）
作成者8名、利用者3名、監査人4名 計15名

- 第1期から第3期のプログラムの受講修了者については、IFRS財団の諮問会議の副議長1名、IASBのスタッフ（在ロンドン）3名、ASBJの専門研究員7名、ASBJの専門委員会の専門委員11名が輩出されているほか、多くの受講修了者が各団体の会計基準設定に関連する活動に参加されている。

会計人材開発支援プログラム(2)



- 現在、第4期を以下のとおり実施している。
 - 期間：2018年1月～12月
 - 受講生：作成者8名、利用者4名、監査人4名 計16名
 - プログラム内容
 - 概念フレームワークに関する講義
 - ASBJ関係者との議論
 - その他の国内関係者との議論
 - IFRS関係者との意見交換
 - 英語によるディスカッション・トレーニング

- このプログラムは、IASB等の組織の活動に直接参加し、意見発信を行い、議論できる人材を育成することなどを目的としている。

